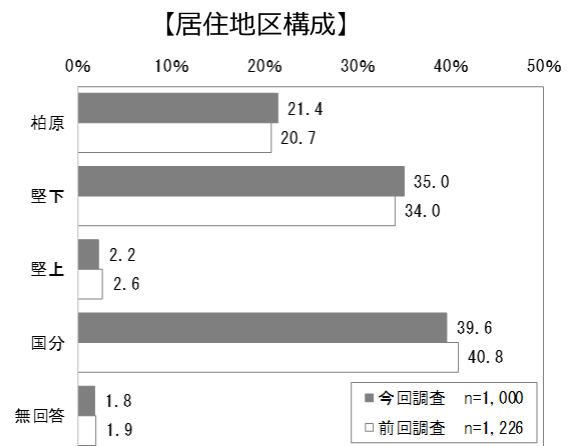
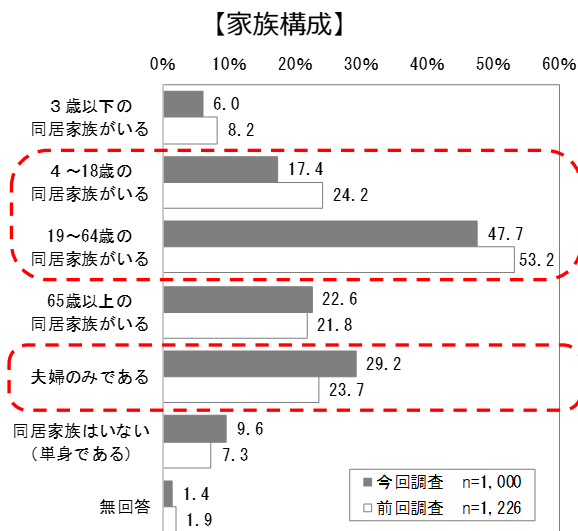
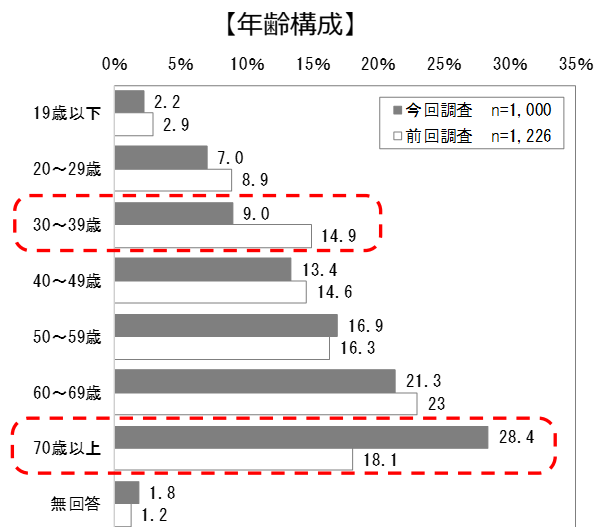
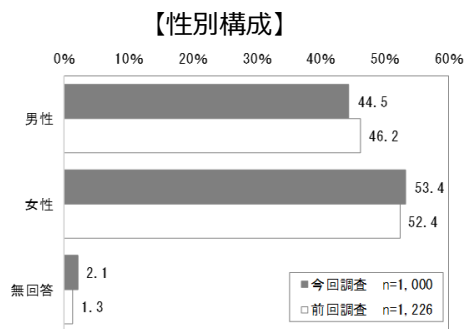


第5次総合計画策定のためのアンケート調査／前回調査比較

※前回調査とは、平成21年2月実施の第4次柏原市総合計画策定に係る市民意識調査のこと

1 属性について

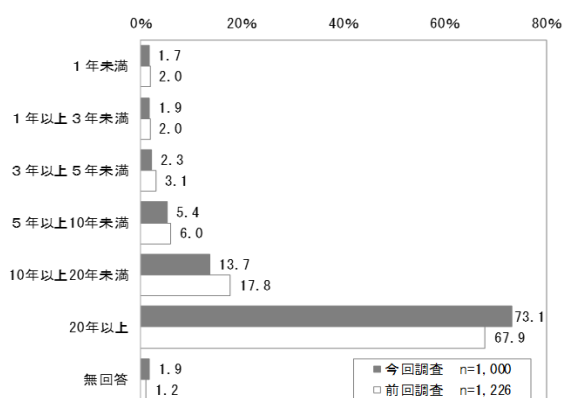
- 回答者の性別構成に大きな変化はない。
- 年齢構成は、「30～39歳」が5.9ポイント減少し、「70歳以上」が10.3ポイント増加。他の年齢層は大きな変化はない。
- 家族構成は、年齢構成の変化に伴い、「4～18歳の同居家族がいる」と「19～64歳の同居家族がいる」が5.0ポイント以上減少し、「夫婦のみである」が5.5ポイント増加。
- 居住地区構成に大きな変化はない。



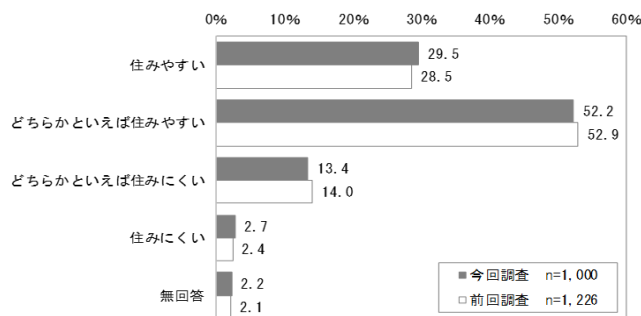
2 柏原市での生活について

- 居住期間は、「20年以上」が5.2ポイント増加。
- 住みやすさに大きな変化はない。
- 住みやすいと感じられる理由や魅力については、順位に変動はあるものの、トップ4は「自然環境が豊かである」、「静かでのんびりしている」、「通勤・通学など交通の便がよい」、「買い物など日常生活が便利である」となっている。また、前回調査より減少している項目が多い中で、「治安がよく防犯の面で安心できる」が6.8ポイント増加。
- 住みにくいと感じられる理由については、順位に変動はあるものの、トップ4は「買い物など日常生活が不便である」、「趣味や娯楽の場が少ない」、「医療の面で安心できない」「通勤・通学などの交通の便があるい」となっている。その中で、前回調査では1位の「医療の面で安心できない」が12.6ポイント減少し3位に、前回調査では2位の「買い物など日常生活が不便である」が15.0ポイント増加し1位になっている。

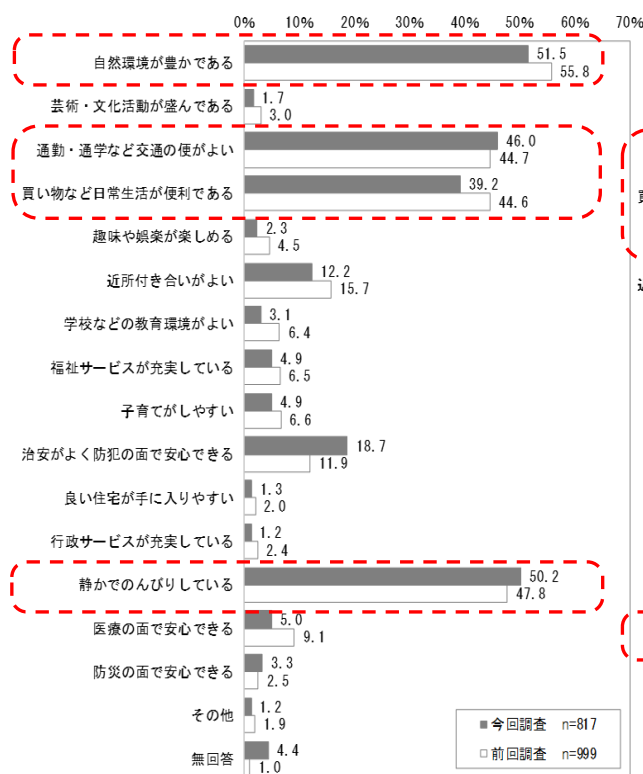
【居住期間】



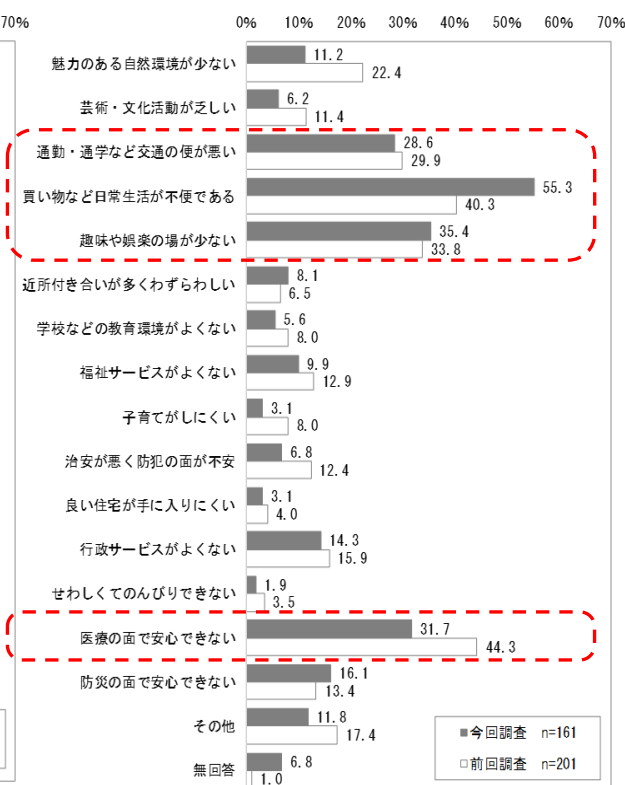
【住みやすさ】



【住みやすいと感じられる理由や魅力】



【住みにくいと感じられる理由】



- 住みにくいと感じられる理由について、トップ4の中での変動を年齢別にみると、「買い物など日常生活が不便である」が前回調査より10ポイント以上増加したのは、“19歳以下”及び“70歳以上”を除く各年齢層となっている。ただし、“70歳以上”も7.1ポイント増加し、55.1%と半数を超える。また、“19歳以下”は回答数が少なく、一概には言えない。
- 「医療の面で安心できない」が前回調査より10ポイント以上減少したのは、“70歳以上”を除く各年齢層となっている。

【住みにくいと感じられる理由トップ4の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=8)	今回 (n=3)	前回 (n=14)	今回 (n=10)	前回 (n=38)	今回 (n=15)	前回 (n=45)	今回 (n=25)	前回 (n=28)	今回 (n=28)	前回 (n=43)	今回 (n=29)	前回 (n=25)	今回 (n=49)
買い物など日常生活が不便である	50.0	33.3	57.1	70.0	42.1	52.3	33.3	44.0	25.0	64.3	44.2	55.2	48.0	55.1
趣味や娯楽の場が少ない	62.5	66.7	57.1	50.0	42.1	40.0	33.3	36.0	32.1	32.1	20.9	41.4	24.0	28.6
医療の面で安心できない	25.0	0.0	21.4	10.0	39.5	13.3	42.2	20.0	57.1	39.3	58.1	37.9	36.0	38.8
通勤・通学など交通の便が悪い	25.0	33.3	35.7	30.0	34.2	46.7	31.1	44.0	28.6	25.0	30.2	27.6	20.0	16.3
※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目														

- 住みにくいと感じられる理由について、トップ4の中での変動を居住地区別にみると、「買い物など日常生活が不便である」が前回調査より10ポイント以上増加したのは、“堅下”及び“国分”で、10ポイント以上減少したのは“堅上”となっている。
- 「医療の面で安心できない」が前回調査より10ポイント以上減少したのは、“堅上”となっている。

【住みにくいと感じられる理由トップ4の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=28)	今回 (n=20)	前回 (n=58)	今回 (n=47)	前回 (n=10)	今回 (n=11)	前回 (n=105)	今回 (n=78)
買い物など日常生活が不便である	35.7	40.0	37.9	61.7	90.0	63.6	38.1	63.8
趣味や娯楽の場が少ない	39.3	35.0	29.3	38.3	10.0	27.3	37.1	34.6
医療の面で安心できない	39.3	40.0	48.3	29.8	50.0	18.2	42.9	29.5
通勤・通学など交通の便が悪い	32.1	25.0	29.3	23.4	60.0	45.5	26.7	30.8
※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目								

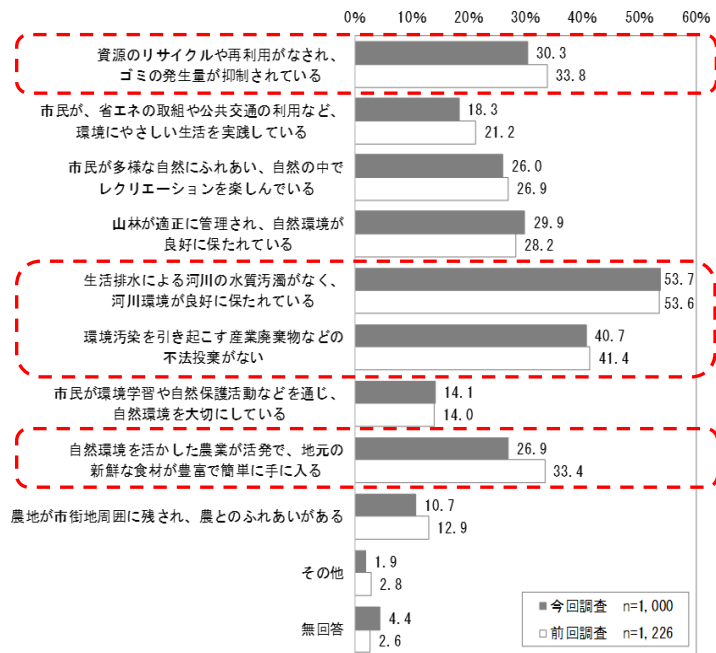
<主な課題等>

- ◎住みやすい柏原市にするためには、買い物など日常生活や公共交通の利便性の向上、趣味や娯楽の場の充実、医療面や防災面などでのさらなる安心の確保が求められている。
- ◎買い物などの日常生活の不便さについては、年齢層や居住地区により差があり、交通手段の確保のみならず、買い物代行や移動販売などニーズや実情に合わせた検討が求められる。

2 まちの将来の姿について

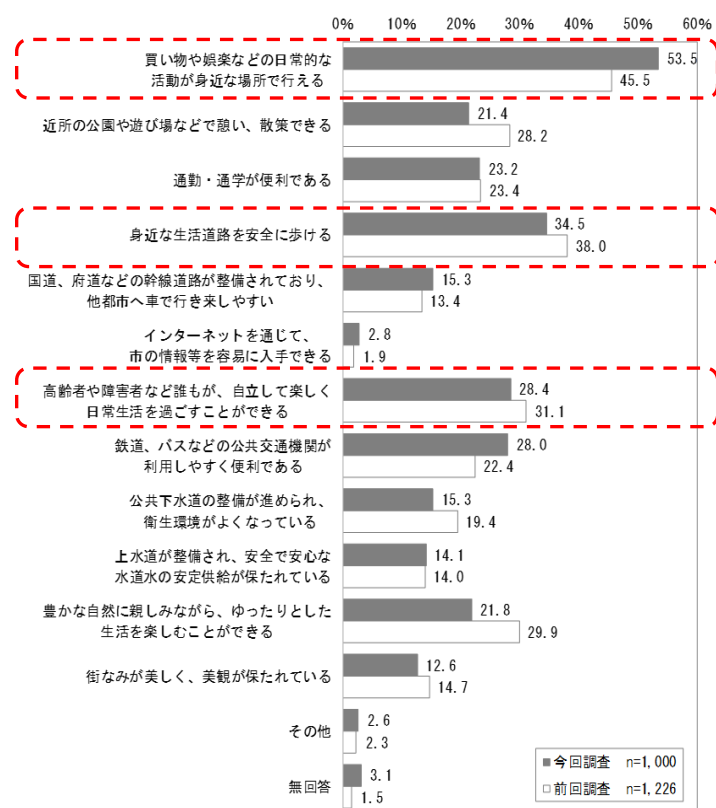
① 「豊かな自然環境を大切にして、自然と共生している」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ3は、前回調査と同様に「生活排水による河川の水質汚濁がなく、河川環境が良好に保たれている」、「環境汚染を引き起こす産業廃棄物などの不法投棄がない」、「資源のリサイクルや再利用がなされ、ゴミの発生量が抑制されている」の順となっている。
- おおむねどの項目も前回調査と大きな変化はない中で、「自然環境を活かした農業が活発で、地元の新鮮な食材が豊富で簡単に手に入る」が6.5ポイント減少。



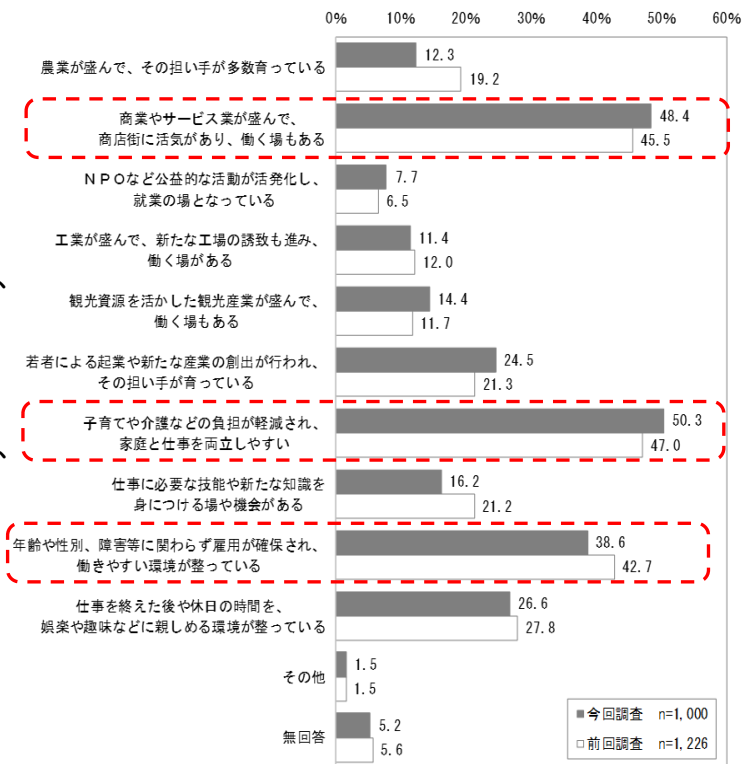
② 「日常生活が便利で快適に過ごしている」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ3は、前回調査と同様に「買い物や娯楽などの日常的な活動が身近な場所で行える」、「身近な生活道路を安全に歩ける」、「高齢者や障害者など誰もが、自立して楽しく日常生活を過ごすことができる」の順となっているが、「買い物や娯楽などの日常的な活動が身近な場所で行える」は8.0ポイント増加。
- その他の項目で5ポイント以上減少したものは、「豊かな自然に親しみながら、ゆったりとした生活を楽しむことができる」が8.1ポイント、「近所の公園や遊び場などで憩い、散策できる」が6.8ポイントで、一方、増加したものは、「鉄道、バスなどの公共交通機関が利用しやすく便利である」が5.6ポイント。



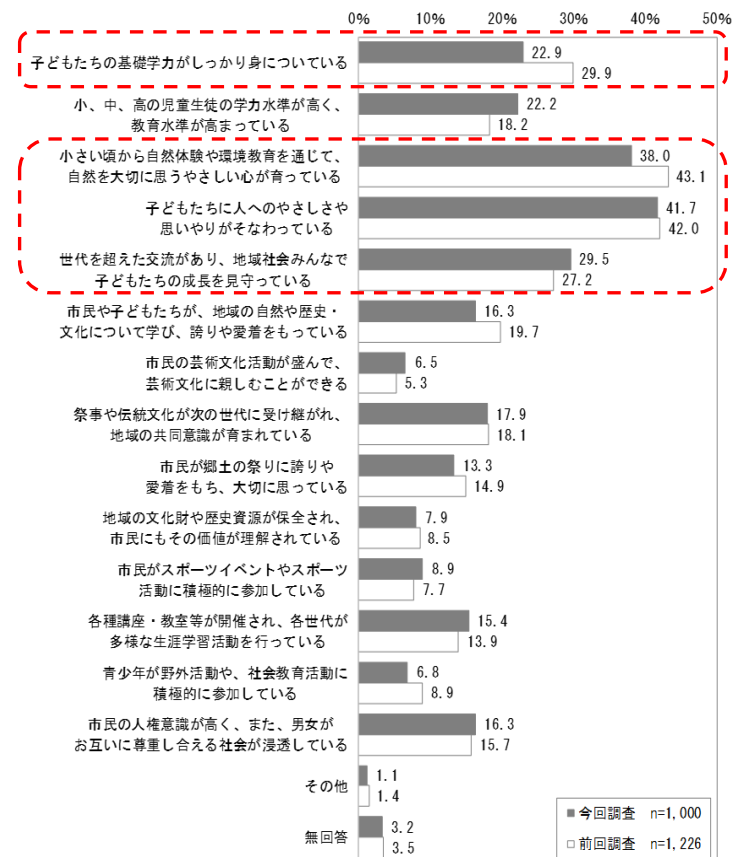
③ 「多様な産業が盛んで働きやすい」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ3は、前回調査と同様に「子育てや介護などの負担が軽減され、家庭と仕事を両立しやすい」、「商業やサービス業が盛んで、商店街に活気があり、働く場もある」、「年齢や性別、障害等に関わらず雇用が確保され、働きやすい環境が整っている」の順となっている。
- その他の項目で5ポイント以上減少したものは、「農業が盛んで、その担い手が多数育っている」が6.9ポイント、「仕事に必要な技能や新たな知識を身につける場や機会がある」が5.0ポイント。



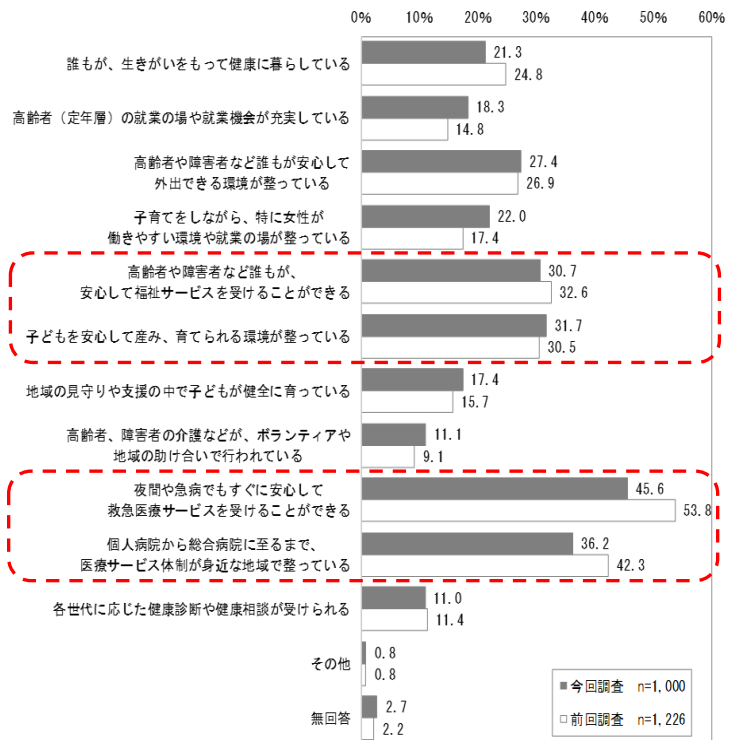
④ 「地域を誇りに思い、個性を大切に作る心豊かな人材が育っている」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ2は、「子どもたちに人へのやさしさや思いやりがそなわっている」、「小さい頃から自然体験や環境教育を通じて、自然を大切に思うやさしい心が育っている」の順で、前回調査とは逆になっている。3位は「世代を超えた交流があり、地域社会みんなで子どもたちの成長を見守っている」で、前回調査では「子どもたちの基礎学力がしっかり身についている」となっている。
- 前回調査で3位の「子どもたちの基礎学力がしっかり身についている」は、今回調査では7.0ポイント減少。



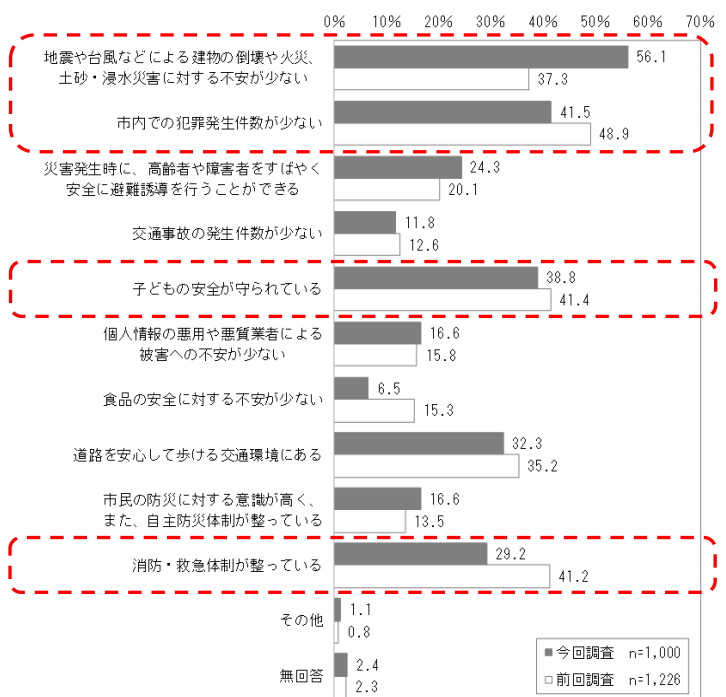
⑤ 「誰もが健康で安心して暮らしている」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ2は、前回調査と同様に「夜間や急病でもすぐに安心して救急医療サービスを受けることができる」、「個人病院から総合病院に至るまで、医療サービス体制が身近な地域で整っている」となっていて、前回調査よりそれぞれ8.2ポイント、6.1ポイント減少。3位は「子どもを安心して産み、育てられる環境が整っている」で、前回調査では「高齢者や障害者など誰もが、安心して福祉サービスを受けることができる」となっている。前回調査の3位の項目は、今回調査では4位となっており、割合も大きな変化はない。



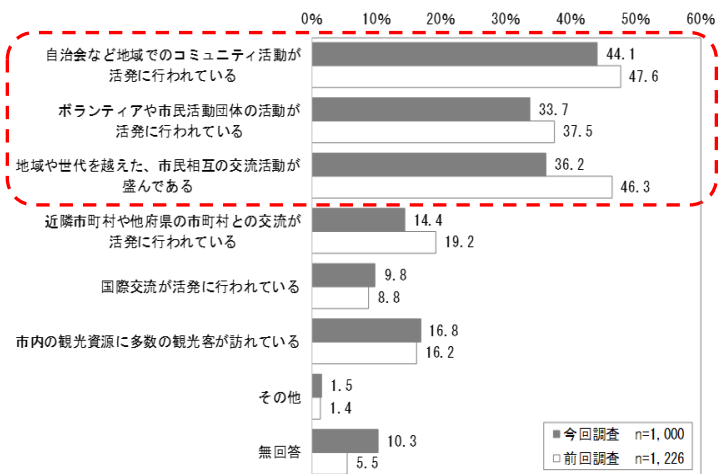
⑥ 「市民の安全が守られている」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ3は、「地震や台風などによる建物の倒壊や火災、土砂・浸水災害に対する不安が少ない」、「市内での犯罪発生件数が少ない」、「子どもの安全が守られている」の順で、前回調査では「市内での犯罪発生件数が少ない」、「子どもの安全が守られている」の順となっている。
- 今回調査で1位の「地震や台風などによる建物の倒壊や火災、土砂・浸水災害に対する不安が少ない」は、前回調査より18.8ポイント増加し、2位の「市内での犯罪発生件数が少ない」は7.4ポイント減少。また、前回調査で3位の「消防・救急体制が整っている」は12.0ポイント減少。



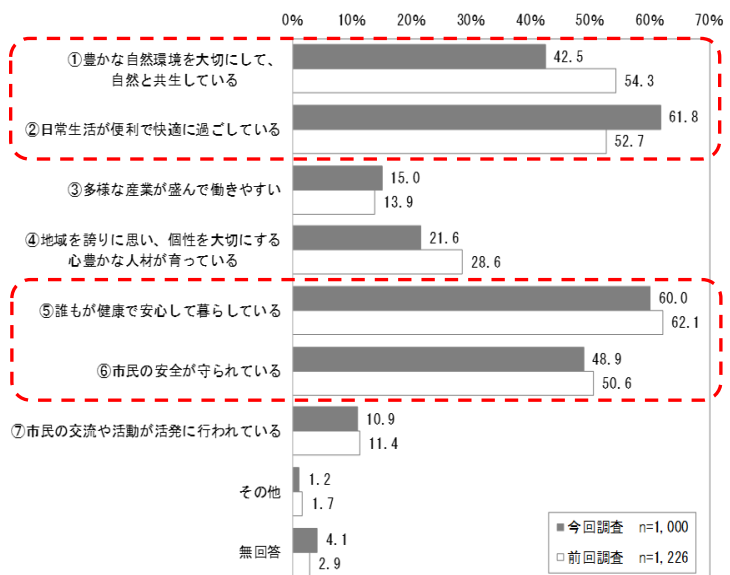
⑦ 「市民の交流や活動が活発に行われている」まちをめざす場合に実現したい状態

- トップ3は、前回調査と同様に「自治会など地域でのコミュニティ活動が活発に行われている」、「地域や世代を越えた、市民相互の交流活動が盛んである」、「ボランティアや市民活動団体の活動が活発に行われている」の順で、前回調査よりそれぞれ減少しているが、特に2位の「地域や世代を越えた、市民相互の交流活動が盛んである」は10.1ポイント減少。



⑧ 希望する将来の柏原市の姿

- トップ3は、「②日常生活が便利で快適に過ごしている」、「⑤誰もが健康で安心して暮らしている」、「⑥市民の安全が守られている」の順で、前回調査では「⑤誰もが健康で安心して暮らしている」、「①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している」、「②日常生活が便利で快適に過ごしている」の順となっている。
- 今回調査で1位の「②日常生活が便利で快適に過ごしている」は前回調査より9.1ポイント増加し、前回調査で2位の「①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している」は今回調査では11.8ポイント減少。また、「④地域を誇りに思い、個性を大切に、心豊かな人材が育っている」が前回調査より7.0ポイント減少。これら以外は大きな変化はない。



- 希望する将来の柏原市の姿について、トップ4の中での変動を年齢別にみると、今回調査で1位の「②日常生活が便利で快適に過ごしている」が前回調査より10ポイント以上増加したのは、“40～49歳”及び“50～59歳”で、特に“40～49歳”は24.1ポイント増加。一方、10ポイント以上減少したのは、“19歳以下”で15.6ポイント減少。
- 前回調査で2位の「①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している」は、全ての年齢層で前回調査より減少しているが、10ポイント以上減少したのは、“30～39歳”及び“70歳以上”を除く各年齢層となっている。特に“20～29歳”の21.2ポイント、“30～39歳”の17.0ポイントが大きな減少率となっている。

【希望する将来の柏原市の姿トップ4の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
②日常生活が便利で快適に過ごしている	61.1	45.5	59.6	62.9	56.3	58.9	47.5	71.6	54.5	68.0	48.9	57.3	52.3	58.8
⑤誰もが健康で安心して暮らしている	50.0	54.5	65.1	52.9	67.2	51.1	63.7	62.7	64.5	62.1	63.5	65.7	52.7	57.7
⑦市民の安全が守られている	72.2	59.1	45.0	51.4	62.3	46.7	56.4	57.5	45.0	49.7	47.9	44.6	43.7	46.1
①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している	52.8	40.9	56.9	35.7	44.3	40.0	53.6	36.6	58.5	44.4	62.4	47.4	50.0	43.7
※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目														

- 希望する将来の柏原市の姿について、トップ4の中での変動を居住地区別にみると、今回調査で1位の「②日常生活が便利で快適に過ごしている」が前回調査より10ポイント以上増加したのは、“堅上”及び“国分”で、“堅下”も9.8ポイント増加。
- 前回調査で2位の「①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している」は、全ての居住地区で前回調査より10ポイント以上減少し、特に“堅上”では26.1ポイントと大きく減少。
- これ以外で大きな変化があったのは、今回調査で3位の「⑦市民の安全が守られている」の“堅上”で、26.7ポイントと大きく増加。

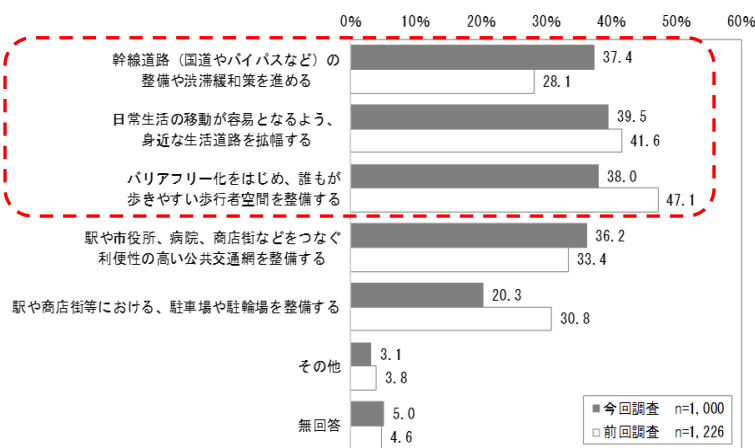
【希望する将来の柏原市の姿トップ4の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
②日常生活が便利で快適に過ごしている	55.9	59.3	52.5	62.3	50.0	63.6	51.6	63.1
⑤誰もが健康で安心して暮らしている	61.4	59.8	62.1	58.0	43.8	54.5	63.6	62.1
⑦市民の安全が守られている	55.1	49.5	47.5	52.0	18.8	45.5	53.2	46.0
①豊かな自然環境を大切に、自然と共生している	48.8	37.9	56.6	43.7	62.5	36.4	55.4	44.7
※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目								

3 まちづくりについて

① 【道路交通】の重要な取組

- トップ3は、「日常生活の移動が容易となるよう、身近な生活道路を拡幅する」、「バリアフリー化をはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する」、「幹線道路（国道やバイパスなど）の整備や渋滞緩和策を進める」の順で、「駅や市役所、病院、商店街などをつなぐ利便性の高い公共交通網を整備する」も大差なく続く。



- 前回調査で1位の「バリアフリー化をはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する」は9.1ポイント減少し、前回調査で最も低かった「幹線道路（国道やバイパスなど）の整備や渋滞緩和策を進める」は9.3ポイント増加。また、「駅や商店街等における、駐車場や駐輪場を整備する」は10.5ポイント減少。
- 「バリアフリー化をはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する」の減少は、年齢別では“19歳以下”、“40～49歳”、“50～59歳”の減少率が特に大きく、「駅や商店街等における、駐車場や駐輪場を整備する」の減少は、“19歳以下”、“20～29歳”、“40～49歳”、“70歳以上”の減少率が特に大きい。

【道路交通の重要な役割の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
幹線道路の整備や渋滞緩和策を進める	25.0	45.5	31.2	40.0	30.1	50.0	30.3	39.6	27.0	38.5	28.0	39.4	20.3	29.9
日常生活の移動が容易となるよう、身近な生活道路を拡幅する	36.1	27.3	40.4	40.0	41.5	32.2	40.8	45.5	45.5	39.1	41.8	38.5	40.5	40.5
バリアフリーをはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する	52.8	36.4	45.9	47.1	45.9	37.8	47.5	33.6	55.0	40.8	45.4	39.0	43.2	35.9
駅や市役所、病院、商店街などをつなぐ利便性の高い公共交通網を整備する	27.8	54.5	37.6	31.4	31.1	31.1	24.6	35.1	35.0	35.5	38.3	35.7	34.7	39.4
駅や商店街等における、駐車場や駐輪場を整備する	22.2	9.1	31.2	20.0	31.1	30.0	32.4	20.1	26.0	21.3	30.1	21.1	35.1	16.9

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「バリアフリー化をはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する」の減少は、居住地区別では“国分”の減少率が特に大きく、「駅や商店街等における、駐車場や駐輪場を整備する」の減少は、“国分”以外の減少率が特に大きい。

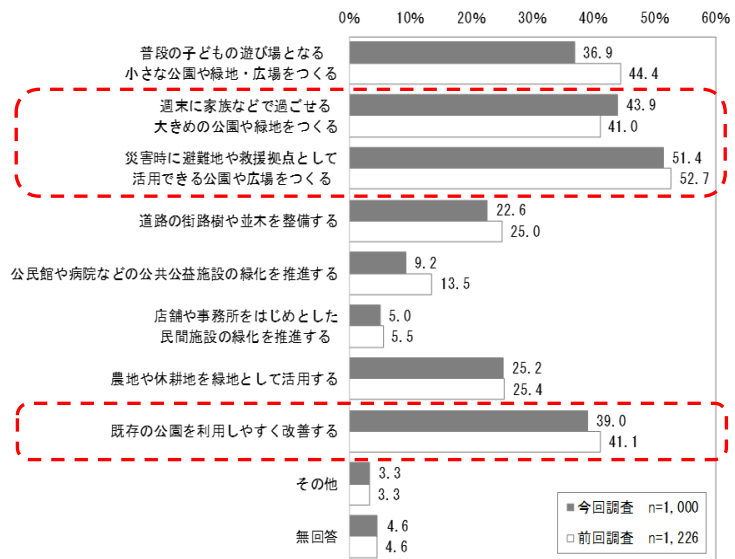
【道路交通の重要な役割の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
幹線道路の整備や渋滞緩和策を進める	26.4	28.5	23.7	33.4	25.0	40.9	33.4	46.2
日常生活の移動が容易となるよう、身近な生活道路を拡幅する	38.2	40.7	45.3	44.0	62.5	40.9	39.0	34.8
バリアフリーをはじめ、誰もが歩きやすい歩行者空間を整備する	44.1	43.0	50.8	42.0	31.3	22.7	47.2	33.3
駅や市役所、病院、商店街などをつなぐ利便性の高い公共交通網を整備する	36.2	41.1	28.1	30.3	40.6	36.4	36.6	38.9
駅や商店街等における、駐車場や駐輪場を整備する	34.3	19.6	32.6	22.6	40.6	22.7	26.4	18.2

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

② 【公園・緑地】の重要な取組

- トップ3は、「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場をつくる」、「週末に家族などで過ごせる大きめの公園や緑地をつくる」、「既存の公園を利用しやすく改善する」の順で、前回調査と1位、3位は割合も変化ない。今回調査で2位の「週末に家族などで過ごせる大きめの公園や緑地をつくる」は前回調査では4位で、前回調査で2位の「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地・広場をつくる」は7.5ポイント減少し、今回調査では4位となっている。



- 「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地・広場をつくる」の減少は、年齢別では“20～29歳”、“70歳以上”の減少率が特に大きい。

【公園・緑地の重要な役割の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地・広場をつくる	38.9	40.9	59.6	48.6	52.5	52.2	46.9	38.1	38.5	35.5	38.7	38.0	42.8	28.2
週末に家族などで過ごせる大きめの公園や緑地をつくる	47.2	40.9	48.6	48.6	53.6	61.1	39.1	50.0	37.5	45.6	40.8	38.0	32.0	37.0
災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場をつくる	36.1	50.0	32.1	45.7	44.3	30.0	45.8	45.5	57.5	55.0	61.3	57.7	63.1	56.3
道路の街路樹や並木を整備する	50.0	13.6	33.0	20.0	17.5	24.4	25.7	19.4	24.5	25.4	28.0	22.5	19.4	23.2
公民館や病院などの公共施設施設の緑化を推進する	16.7	18.2	19.3	20.0	8.7	2.2	10.1	8.2	15.5	8.9	16.0	8.5	12.6	9.5
店舗や事務所をはじめとした民間施設の緑化を推進する	5.6	18.2	9.2	10.0	6.6	3.3	5.0	0.7	6.0	4.1	4.6	7.0	4.1	4.2
農地や休耕地を緑地として活用する	13.9	13.6	13.8	10.0	19.7	18.9	26.3	25.4	35.0	25.4	26.6	28.6	26.6	29.6
既存の公園を利用しやすく改善する	25.0	27.3	51.4	40.0	48.1	54.4	48.0	46.3	42.0	34.3	38.7	40.4	31.1	33.5

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地・広場をつくる」の減少は、居住地区別では“堅下”の減少率が特に大きい。

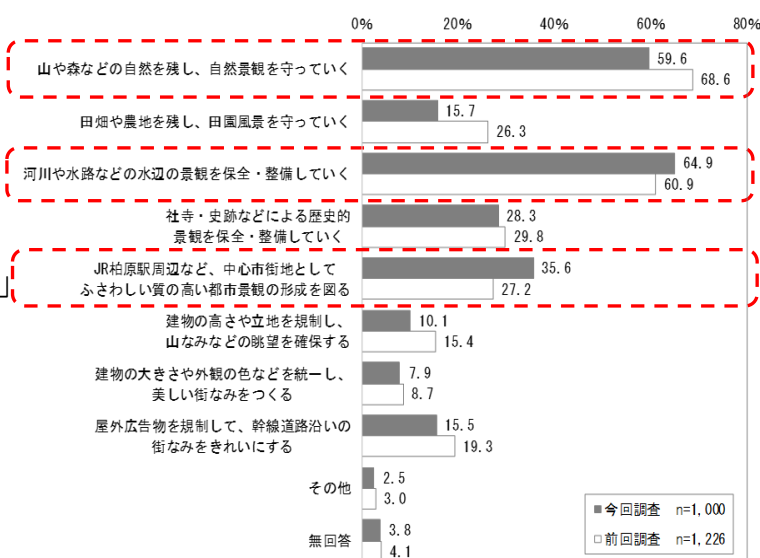
【公園・緑地の重要な役割の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
普段の子どもの遊び場となる小さな公園や緑地・広場をつくる	48.0	41.1	46.3	35.4	31.3	31.8	42.0	36.1
週末に家族などで過ごせる大きめの公園や緑地をつくる	42.1	53.3	42.7	46.6	40.6	27.3	40.4	37.4
災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場をつくる	54.3	46.7	53.0	52.3	43.8	54.5	52.2	53.5
道路の街路樹や並木を整備する	22.4	24.8	21.8	20.6	21.9	9.1	29.0	24.0
公民館や病院などの公共施設施設の緑化を推進する	11.8	12.6	13.7	11.1	15.6	0.0	14.4	6.3
店舗や事務所をはじめとした民間施設の緑化を推進する	6.3	6.5	6.0	4.3	0.0	0.0	5.0	4.8
農地や休耕地を緑地として活用する	25.2	25.7	25.9	26.6	53.1	40.9	23.4	23.7
既存の公園を利用しやすく改善する	32.3	33.6	47.7	38.9	18.8	31.8	42.2	42.2

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

③ 【景観】の重要な取組

- トップ3は、「河川や水路などの水辺の景観を保全・整備していく」、「山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく」、「JR柏原駅周辺など、中心市街地としてふさわしい質の高い都市景観の形成を図る」の順で、前回調査と1位、2位が逆転している。特に2位の「山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく」は、前回調査より9.0ポイント減少。また、今回3位の「JR柏原駅周辺など、中心市街地としてふさわしい質の高い都市景観の形成を図る」は、前回調査より8.4ポイント増加。さらに、「田畑や農地を残し、田園風景を守っていく」は前回調査より10.6ポイント減少。



「山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく」は、前回調査より9.0ポイント減少。また、今回3位の「JR柏原駅周辺など、中心市街地としてふさわしい質の高い都市景観の形成を図る」は、前回調査より8.4ポイント増加。さらに、「田畑や農地を残し、田園風景を守っていく」は前回調査より10.6ポイント減少。

- 「山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく」の減少は、年齢別では“19歳以下”、“20～29歳”、“40～49歳”の減少率が特に大きい。

【景観の重要な役割の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく	66.7	45.5	70.6	58.6	68.9	65.6	70.9	58.2	73.5	58.0	68.8	63.8	63.1	57.4
田畑や農地を残し、田園風景を守っていく	22.2	18.2	25.7	21.4	26.8	14.4	27.4	17.2	25.0	16.6	28.4	12.2	25.7	15.5
河川や水路などの水辺の景観を保全・整備していく	47.2	59.1	62.4	61.4	59.0	60.0	59.8	63.4	67.0	65.1	64.5	71.8	55.4	63.7
社寺・史跡などによる歴史的景観を保全・整備していく	27.8	22.7	29.4	30.0	29.5	32.2	32.4	26.1	34.0	26.6	27.3	34.3	28.4	25.0
JR柏原駅周辺など、中心市街地としてふさわしい質の高い都市景観の形成を図る	27.8	54.5	34.9	35.7	27.3	34.4	27.9	34.3	19.0	34.3	25.9	36.6	31.1	35.2
建物の高さや立地を規制し、山なみなどの眺望を確保する	8.3	0.0	10.1	7.1	11.5	8.9	15.1	9.0	17.5	9.5	16.7	8.0	19.4	14.4
建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街なみをつくる	13.9	4.5	15.6	14.3	8.2	7.8	8.9	8.2	8.5	13.0	5.7	3.3	9.0	7.0
屋外広告物を規制して、幹線道路沿いの街なみをきれいにする	13.9	13.6	13.8	11.4	13.1	6.7	16.2	11.9	22.5	15.4	24.8	21.6	20.7	17.3

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく」の減少は、居住地区別では“堅下”、“堅上”の減少率が特に大きい。

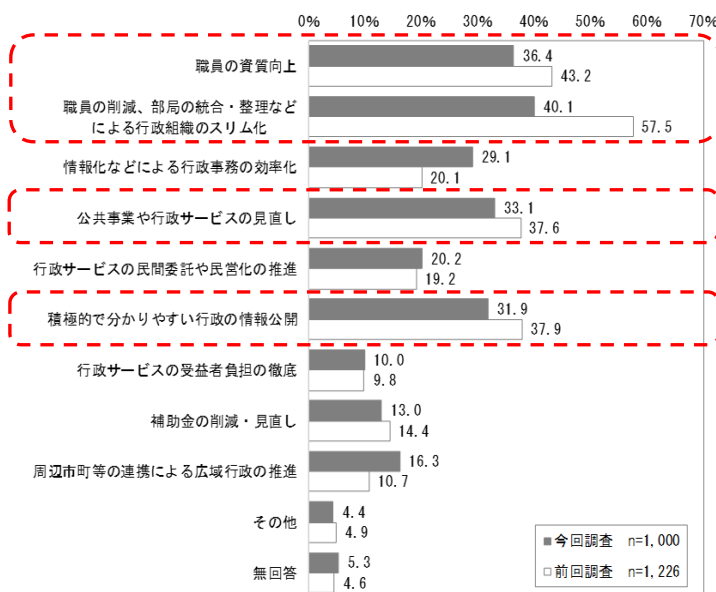
【景観の重要な役割の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
山や森などの自然を残し、自然景観を守っていく	59.4	56.5	71.5	59.4	56.3	40.9	72.8	62.9
田畑や農地を残し、田園風景を守っていく	25.6	14.0	27.8	17.4	37.5	22.7	25.0	14.1
河川や水路などの水辺の景観を保全・整備していく	57.1	61.7	59.0	64.9	59.4	68.2	65.0	67.4
社寺・史跡などによる歴史的景観を保全・整備していく	24.0	21.5	30.9	29.4	40.6	36.4	31.8	30.6
JR柏原駅周辺など、中心市街地としてふさわしい質の高い都市景観の形成を図る	45.7	56.1	34.1	39.4	18.8	27.3	12.8	21.5
建物の高さや立地を規制し、山なみなどの眺望を確保する	14.6	13.1	15.1	7.7	12.5	9.1	15.8	10.6
建物の大きさや外観の色などを統一し、美しい街なみをつくる	11.0	9.3	7.9	7.1	6.3	0.0	8.6	8.6
屋外広告物を規制して、幹線道路沿いの街なみをきれいにする	19.3	16.8	19.4	12.9	25.0	9.1	18.8	18.2

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

4 行財政改革について

- トップ3は、「職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化」、「職員の資質向上」、「公共事業や行政サービスの見直し」の順で、「積極的で分かりやすい行政の情報公開」が大差なく続く。1位、2位は前回調査と同じ項目でともに減少しているが、特に1位の「職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化」は17.4ポイント減少。3位、4位は前回調査と逆転している。
- 上位の項目がいずれも前回調査より減少している中で、「情報化などによる行政業務の効率化」は9.0ポイント増加。
- 「職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化」の減少は、年齢別では“19歳以下”を除く各年齢層で減少率が特に大きい。“19歳以下”は逆に増加が大きい。



【行財政改革トップ5の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化	25.0	36.4	39.4	25.7	59.0	31.1	54.7	39.6	64.5	39.6	65.6	49.3	57.2	40.5
職員の資質向上	36.1	36.4	56.9	37.1	42.1	36.7	46.9	44.0	42.0	39.6	42.2	36.6	39.2	29.6
公共事業や行政サービスの見直し	38.9	31.8	44.0	42.9	42.6	36.7	47.5	35.1	41.5	39.1	32.3	31.5	26.6	26.8
積極的で分かりやすい行政の情報公開	41.7	40.9	45.0	47.1	38.8	32.2	27.4	20.9	34.0	30.8	41.8	26.8	40.1	37.0
情報化などによる行政事務の効率化	16.7	45.5	25.7	30.0	17.5	30.0	21.8	26.1	17.5	30.8	21.6	29.1	19.8	28.5

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化」の減少は、居住地区別では各居住地で10ポイント以上の減少となっている。

【行財政改革トップ5の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
職員の削減、部局の統合・整理などによる行政組織のスリム化	58.3	40.7	58.5	40.6	40.6	27.3	57.8	40.7
職員の資質向上	42.9	39.7	42.2	36.3	53.1	18.2	43.6	35.6
公共事業や行政サービスの見直し	39.8	32.7	40.0	35.1	21.9	13.6	36.6	32.6
積極的で分かりやすい行政の情報公開	40.2	35.5	34.3	32.0	40.6	18.2	39.6	30.8
情報化などによる行政事務の効率化	18.1	27.1	20.9	31.4	21.9	31.8	20.6	28.8

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

5 今後の市民参加について

(1) 市民と行政の協働のあり方

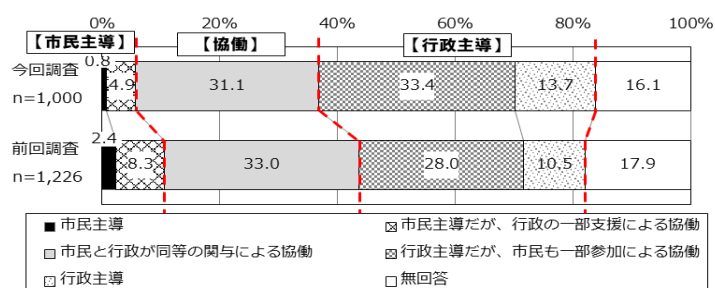
- 望ましい市民と行政のあり方について、最も多い取組を前回調査と比較すると、前回調査では「市民と行政が同等の関与による協働」に含まれていた①環境保全などの活動が、今回調査では「行政主導だが、市民も一部参加による協働」に変わっている。

【協働のあり方について最も多い取組の変化】

	市民主導だが、行政の一部支援による協働	市民と行政が同等の関与による協働	行政主導だが、市民も一部参加による協働
今回	③地域の祭り・伝統芸能などの 保全継承活動 ⑦自治会の活動	②地域の清掃・美化の活動 ④福祉などのボランティア活動 ⑤地域の防災・防犯のための活動 ⑥まちづくりなどの活動 ⑧高齢者や子どもに対する地域での見守り活動 ⑨その他（前回はなし）	①環境保全などの活動
前回	③地域の祭り・伝統芸能などの 保全継承活動 ⑦自治会の活動	①環境保全などの活動 ②地域の清掃・美化の活動 ④福祉などのボランティア活動 ⑤地域の防災・防犯のための活動 ⑥まちづくりなどの活動 ⑧高齢者や子どもに対する地域での見守り活動	

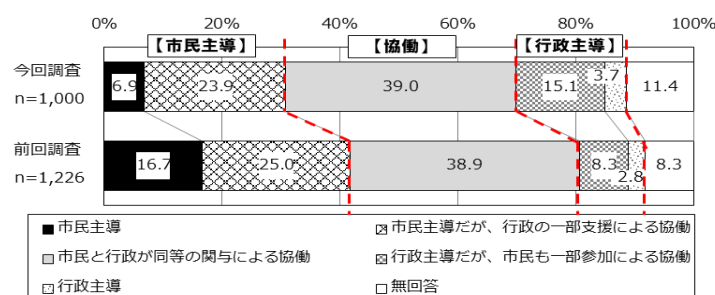
① 環境保全などの活動

- 前回調査と比較して『市民主導』（「市民主導」＋「市民主導だが、行政の一部支援による協働」）が減少し、『行政主導』（「行政主導だが、市民も一部参加による協働」＋「行政主導」）が増加。



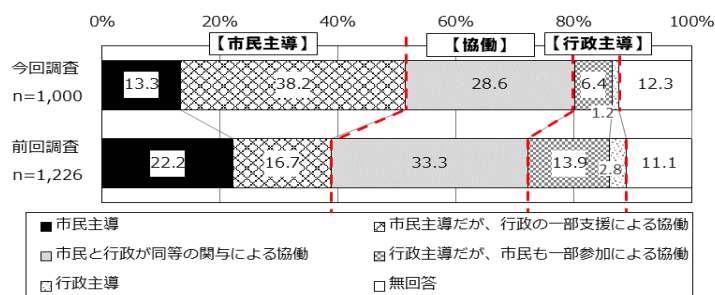
② 地域の清掃・美化活動

- 前回調査と比較して『市民主導』が減少し、『行政主導』が増加。



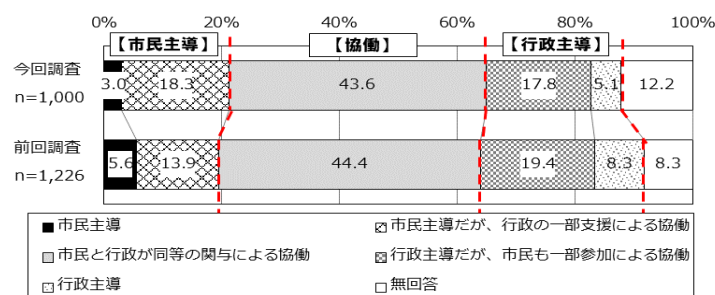
③ 地域の祭り・伝統芸能などの保全継承活動

- 前回調査と比較して『市民主導』が増加し、「協働」及び『行政主導』が減少。



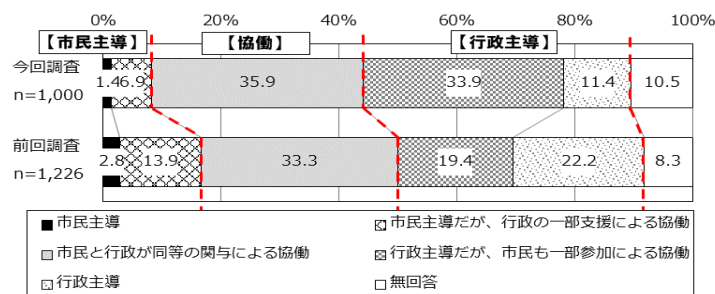
④ 福祉などのボランティア活動

- 前回調査と比較して『市民主導』がわずかながら増加し、『行政主導』が減少。



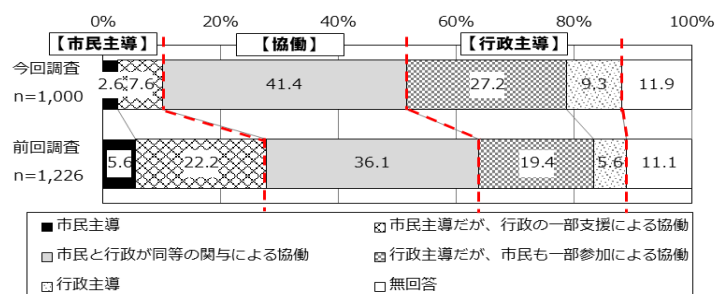
⑤ 地域の防災・防犯のための活動

- 前回調査と比較して『市民主導』が減少し、『行政主導』が増加。



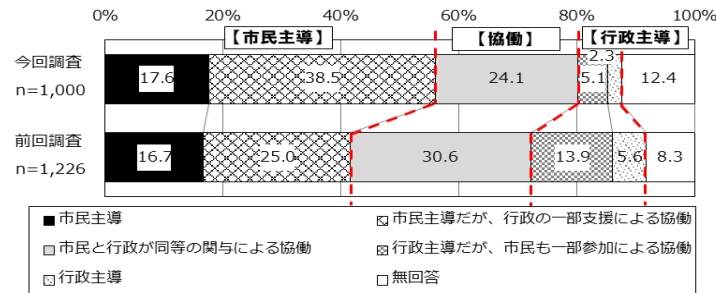
⑥ まちづくりなどの活動

- 前回調査と比較して『市民主導』が減少し、『行政主導』が増加。



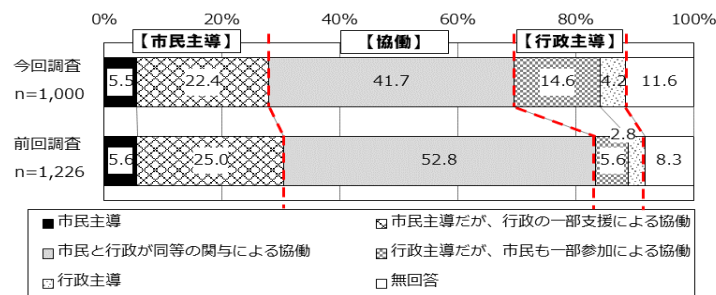
⑦ 自治会の活動

- 前回調査と比較して『市民主導』が増加し、「協働」及び『行政主導』が減少。



⑧ 高齢者や子どもに対する地域での見守り活動

- 前回調査と比較して『市民主導』がわずかながら減少、「協働」が減少し、『行政主導』は増加。

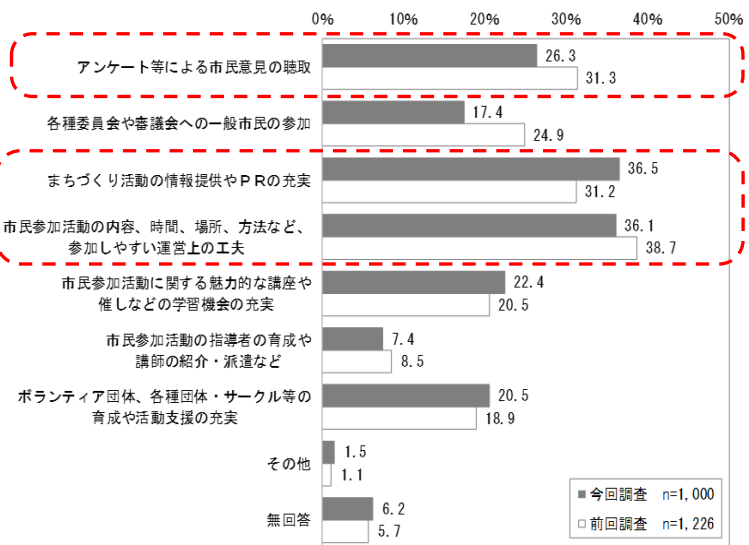


<主な課題等>

- ◎前回調査と比較して『市民主導』（「市民主導」＋「市民主導だが、行政の一部支援による協働」）が減少した項目は、＜①環境保全などの活動＞、＜②地域の清掃・美化の活動＞、＜⑤地域の防災・防犯のための活動＞、＜⑥まちづくりなどの活動＞、＜⑧高齢者や子どもに対する地域での見守り活動＞の5項目で、そのうち、＜②地域の清掃・美化の活動＞では「市民主導」が大きく減少している。
- ◎一方、『市民主導』が増加した項目は、＜③地域の祭り・伝統芸能などの保全活動＞、＜④福祉などのボランティア活動＞、＜⑦自治会の活動＞の3項目で、そのうち、＜③地域の祭り・伝統芸能などの保全活動＞では「市民主導」が大きく減少している。
- ◎「市民主導」が減少した要因として、活動の中には具体的に市民が参加できる内容がイメージできにくいことがあったり、これまでの主な担い手の高齢化などによる活動の不活性化などがあると想定され、地域福祉の推進とともに、市民のできることを市民自身が考え、実践できるようにしていくことが求められる。

(2) まちづくりへの市民参加促進のために強化すべき取組

- トップ3は、「まちづくり活動の情報提供やPRの充実」、「市民参加活動の内容、時間、場所、方法など、参加しやすい運営上の工夫」、「アンケート等による市民意見の聴取」の順で、前回調査とは順番が異なるが上位3項目は同じ。
- 1位の、「まちづくり活動の情報提供やPRの充実」は、前回調査より5.3ポイント増加し、2位、3位の項目は前回調査より減少。これ以外では、「各種委員会や審議会への一般市民の参加」が前回調査より7.5ポイント減少。



- 「各種委員会や審議会への一般市民の参加」の減少は、年齢別では“20～29歳”、“30～39歳”、“40～49歳”の減少率が特に大きく、これ以外の年齢層でも前回調査より減少。

【まちづくりへの市民参加促進のために強化すべき取組トップ3等の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
アンケート等による市民意見の聴取	27.8	27.3	33.9	42.9	37.7	35.6	27.4	24.6	27.5	26.6	31.9	17.8	31.1	26.8
各種委員会や審議会への一般市民の参加	27.8	18.2	30.3	11.4	27.3	13.3	30.2	19.4	24.5	17.2	24.5	20.7	17.1	16.5
まちづくり活動の情報提供やPRの充実	27.8	54.5	34.9	38.6	30.6	38.9	30.2	38.1	34.0	26.6	32.3	38.5	27.0	38.4
市民参加活動の内容、時間、場所、方法など、参加しやすい運営上の工夫	30.6	36.4	38.5	27.1	36.1	28.9	44.7	32.8	40.0	44.4	40.8	37.1	34.7	35.2

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「各種委員会や審議会への一般市民の参加」の減少は、居住地区別では“柏原”の減少率が大きい、“国分”や“堅下”も前回調査より減少。

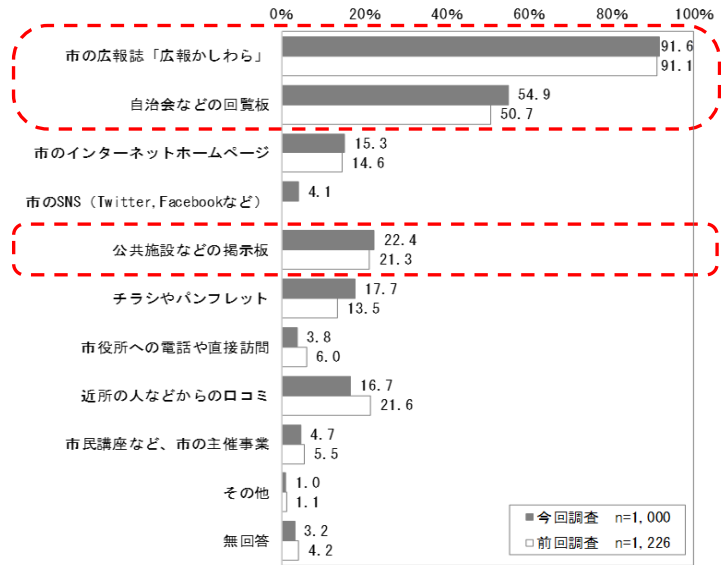
【まちづくりへの市民参加促進のために強化すべき取組トップ3等の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
アンケート等による市民意見の聴取	25.6	24.3	33.8	25.7	37.5	18.2	31.6	28.8
各種委員会や審議会への一般市民の参加	29.1	14.0	22.5	19.4	21.9	22.7	25.8	17.4
まちづくり活動の情報提供やPRの充実	29.1	42.5	30.2	34.6	18.8	36.4	33.6	36.1
市民参加活動の内容、時間、場所、方法など、参加しやすい運営上の工夫	39.0	36.9	39.6	37.7	46.9	31.8	37.6	34.1

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

(3) 市政・まちづくりに関する情報の入手手段

- トップ3は、「市の広報誌「広報かしわら」」、「自治会などの回覧板」、「公共施設などの掲示板」の順で、前回調査とは1位、2位は同じで、3位は前回調査では「近所の人などからの口コミ」で、今回調査では4.9ポイント減少。
- これら以外では、「チラシやパンフレット」が前回調査より4.2ポイント増加。



- 「近所の人などからの口コミ」の減少は、年齢別では“60～69歳”の減少率が特に大きいですが、これ以外の年齢層でも前回調査より減少。

【市政・まちづくりに関する情報の入手手段トップ3等の年齢別割合の変化】

	19歳以下		20～29歳		30～39歳		40～49歳		50～59歳		60～69歳		70歳以上	
	前回 (n=36)	今回 (n=22)	前回 (n=109)	今回 (n=70)	前回 (n=183)	今回 (n=90)	前回 (n=179)	今回 (n=134)	前回 (n=200)	今回 (n=169)	前回 (n=282)	今回 (n=213)	前回 (n=222)	今回 (n=284)
市の広報誌「広報かしわら」	72.2	81.8	89.9	75.7	95.1	91.1	96.1	93.3	93.5	95.3	92.2	93.0	86.0	92.6
自治会などの回覧板	25.0	18.2	27.5	28.6	46.4	28.9	46.4	38.8	51.5	58.6	59.9	67.1	61.3	69.0
市のインターネットホームページ	22.2	27.3	27.5	15.7	22.4	13.3	17.3	23.9	18.0	18.3	7.4	17.4	5.0	8.1
公共施設などの掲示板	25.0	9.1	14.7	22.9	18.6	22.2	14.0	16.4	16.0	17.2	30.1	23.9	26.1	28.2
チラシやパンフレット	13.9	9.1	10.1	12.9	10.4	20.0	8.9	11.2	16.5	11.8	16.3	23.5	15.8	21.5
近所の人などからの口コミ	22.2	13.6	16.5	11.4	19.1	17.8	21.2	17.9	18.5	14.8	27.0	16.0	23.9	20.1

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目

- 「近所の人などからの口コミ」の減少は、居住地区別では“堅上”の減少率が特に大きいですが、これ以外の居住地区でも前回調査より減少。

【市政・まちづくりに関する情報の入手手段
トップ3等の居住地区別割合の変化】

	柏原		堅下		堅上		国分	
	前回 (n=254)	今回 (n=214)	前回 (n=417)	今回 (n=350)	前回 (n=32)	今回 (n=22)	前回 (n=5)	今回 (n=396)
市の広報誌「広報かしわら」	91.3	93.9	93.0	94.3	87.5	95.5	90.4	88.6
自治会などの回覧板	48.4	53.7	53.0	56.9	37.5	68.2	51.0	54.0
市のインターネットホームページ	14.6	16.8	13.2	15.1	15.6	9.1	16.2	15.4
公共施設などの掲示板	20.1	21.0	22.5	23.4	21.9	13.6	20.4	22.5
チラシやパンフレット	14.2	15.0	15.8	22.0	6.3	13.6	12.0	15.9
近所の人などからの口コミ	25.2	17.8	19.9	17.7	40.6	18.2	20.4	15.9

※網掛けは前回調査より10ポイント以上の増減がある項目